

平成 21 年度第 4 回 平成 22 年 2 月 15 日 渋川市立赤城南中学校

はじめに

皆さん、こんにちは。今日は、「一生勉強、一生青春―仕事のやりがい・喜び・楽しさ・厳しさ―」というテーマでお話をさせていただきます。仕事の話なので、最初に私の仕事についてお話をさせていただきます。一つは、開倫塾という学習塾を栃木・群馬・茨城の 49 か所でやっております。塾生数は約 6,500 名、先生は約 350 名の学習塾です。それから、福島市にある有朋学園有朋高等学院という高等学校の理事長をやっております。また、宇都宮大学大学院工学研究科で、大学院生を教える客員教授をやっております。足利市にある特別養護老人ホーム清明苑の理事を 20 年ぐらいやっております。白内障の手術用のメスや手術用の縫合針、歯根治療用のダイヤモンドバーなどをつくるマニー株式会社の社外取締役をやっております。マニー株式会社は、ベトナム、ミャンマー、ラオス等に工場がある会社です。それから、CRT 栃木放送で毎週土曜日の朝 9 時 15 分から「開倫塾の時間」というラジオ番組を担当しています。これは 23 年間ぐらい続いています。今日は、これらの仕事を通して考えたことをお話しします。

私の好きな言葉

私の好きな言葉をお話いたします。私は、皆さんと同じ中学生のときに足利市立山辺中学校の柔道部にいました。そのときの監督、椎名弘先生に教わったのが「練習で泣いて、試合で笑え」という言葉です。泣きはしませんでした。泣くようにつらい練習でした。これは非常に厳しい言葉でしたが、今でもよく覚えています。その椎名弘先生からは「自他共栄―自分も他人も共に栄えよう」という言葉も教えていただきました。これは嘉納治五郎さんの言葉だそうです。それから、中学 3 年生のときのクラス担任の岡田忠治先生に教わったのが「ブルドッグ魂」です。これは何のことか

と先生に質問したら、食い付いたら離すなどということでした。皆さんも、クラス担任の先生や各教科の先生からよい言葉を教わったと思ったら、メモをしておくとしの宝物になると思います。

足利高等学校のマラソン大会のハチマキに書いてあったのが、「一所懸命」という言葉です。字が違うのではないかと聞いたのですが、そうではありませんでした。これは、一つの所で命を懸けるくらい熱心にものごとに取り組みということだと言われました。慶應義塾大学法学部法律学科に入って弁護士を目指し勉強していたのですが、そのときに、犯罪学・刑事政策のゼミの宮沢浩一先生に教わったのが「注意一秒・けが一生」です。ちょっとしたことで間違っ犯罪を犯してしまうと、それが大変なことになるから気をつけましょうということ。また、小泉信三先生という慶應義塾大学の前の塾長先生から教えていただいたのが「練習は不可能を可能にする」です。これはよい言葉ですね。小泉信三先生はテニス部の顧問をなさっておられましたので、テニスの指導の中で出てきた言葉です。京都に行ったとき、山科の一燈園で石川洋先生から教わったのが「会った人は皆友達」です。これもなかなか面白い、よい言葉ですね。そのときに「人生逃げ場なし」という言葉も教えていただきました。目の前のことから逃げてはいけないということです。それから、「あなたは本当の月を見たことがあるのか、本当の自分を見たことがあるのか」という言葉で、自分を見つめなさいということをお話いただきました。

私の大好きなユネスコ協会の先輩からは、「目には遠いが、心は近い」というインドのことわざを教わりました。これはお互い遠く離れていても心は近い存在でありたいものだという意味だと教えていただきました。

私は、人間は自分自身を律して生きれば 110 歳

まで生きられると思っています。このように人生は長いですから、大事なことは「いつまでも若々しく生きる」ことですね。これは覚えておいてください。

そのためにはどうすればよいのでしょうか。私どもの会社は小さい会社で 60 歳が定年ですので、定年になると私のところに挨拶に来ます。そのとき私は、85 歳すぎまで働いてくださいと引きとめています。ただし、元気で若々しくないといけないので、いつまでも元気で若々しくいてくださいとお願いしています。それから最後の言葉です。私の好きなドラッカーという経営学者が教えてくれたのが「**教育ある人とは、勉強し続ける人**」という言葉です。皆さんにお願いしたいのは、勉強は中学校で終わり、高等学校、大学、大学院で終わりではなく、学校を出てからが勉強だということです。

皆さんには好きな言葉がありますか。もし、中学校をはじめ様々なところでいろいろな方から教わった心を打つ言葉があったら、忘れないうちにメモをしておきましょう。気に入った言葉を手帳に書いておき、つらいときなどに、折に触れて読み返してみると励みになりますので、是非やってみてください。

仕事のやりがい・喜び・楽しさ・厳しさ

人は何のために働くのか、これは非常に難しいテーマです。私の考えの一つは、「**生活できるだけの収入を得るため**」ということです。「え！お金のためなのか」と思うかもしれませんが、働くのは収入を得るため、まさにお金のためなのです。例えば、私はよくインドに行きますが、インドには一所懸命働いても人間らしい生活ができない人がまだたくさんいるのです。インドに行ってよくわかったのは、仕事をするにより、人間らしい生活ができるくらいのお金はもらえたらいいなということです。ただ、お金のためだけに働くというのではあまりにも寂しいですから、もう一つ「**仕事を通して自己実現をするため**」ということをつけ加えたいと思います。今日は仕事をしてよかったなど自分で感じられることが、すばらしいことだと思います。

また、仕事を通して「**お客様のお役に立つこと**、

世の中のお役に立つこと」も大事だと思います。お役に立つとは、お客様や世の中の問題を解決することです。例えば、私は以前体調を崩したことがあり、毎週鍼灸の治療に行っていますが、そのおかげで今は健康でいられるのです。つまり、鍼灸の先生は、私の健康を維持するという問題を解決してくれているのです。有難くて、いつも感謝しています。そう考えると、仕事は面白いのではないのでしょうか。皆さんの御家族の方の仕事も見ていくと、とても面白いと思います。お客様や世の中のお役に立つことが、仕事の喜び・楽しさ・厳しさといえると思います。

競争相手に負けないためには

ただ、どんな仕事にも競争相手があります。競争相手に負けないようにするには、**独自性**を持たなくてはなりません。お客様にとっての幸せとは、選択肢があること、つまり、ものやサービスを求めるときに 2 つ以上のものから選ぶことができることです。強力な競争相手、ライバルがいるとお店としては大変ですが、相手に負けないよう創意工夫をすることになります。そのときに何が大切かということ、一つ目は**価格**(値段)です。お客様が気軽に買える値段設定が大切です。二つ目は、お店の**場所**が大切です。お客様の利用しやすい場所でものやサービスを提供することです。三つ目は、お客様との**コミュニケーション**が図れるような広告宣伝も大切になります。

では、競争に負けないためにはどうしたらよいのでしょうか。**競争に負けないためには勉強しかない**のです。これから先は少し難しいお話になりますが、少し考えてみてください。まず初めは、**お客様の問題とは何か、世の中では何が求められているのかを発見**することです。これは非常に難しいことです。皆さんも社会に出ると、このことばかり考えるようになります。

次は、**社会の問題とは何かを知る**ことです。先ほどお話しました、特別養護老人ホームなどは社会の問題を解決するのです。皆さんは、2025 年問題というのを知っていますか。今 60 歳ぐらいの世代の人たちは人口も多く、その団塊の世代と呼ばれる人たちが 2025 年ごろには皆 75 歳すぎになります。この人たちがいかに元気に生きるかが、

大テーマになってくるのです。もし皆さんが医療施設や介護施設に勤めたいならば、社会の問題とは何かをよく考えてください。

さらに、**自分の会社の強み・弱みを知ることが**大切です。強みを伸ばし、弱みを補強するのです。では、どこから学ぶのでしょうか。まずは、**競争相手から学ぶこと**です。それから、**模範となるところから学ぶこと**です。以上の勉強を通して、競争に負けないものやサービスを作り出していくこととなります。勉強すればするほど面白いのが仕事です。

職場生活で大切なこと

職場で大切なことは何かといいますと、1つ目は**明るく、楽しく、元気よくチームでプレイ**をすることです。これはわかりやすいと思います。チームプレイとは、**自分のポジションの仕事は自分の力で守り切る**ことです。そのためには仲間を信頼することです。仲間に信頼されるだけの仕事を自分でしっかりすることです。

2つ目は**フェアプレイ**です。これは、社会や職場のきまりを守り、その中で仕事をするということです。また、自分がされて嫌なことはしないことです。

3つ目は**問題点を先送りしないで仕事の上での議論は自由に**することです。ただし、議論を自由にして喧嘩になってはいけませんから、職場ではできるだけ丁寧(ていねい)な言葉、です・ます調で話すことです。それから、人の話をよく聞くことです。また、わかりやすい言葉で説明することです。最後に、人格非難は絶対にしないことです。

4つ目は**約束した時間の少し前に元気に到着**することです。時間の前に到着できることは、仕事をする上で大事な能力です。遅刻や欠席をしないことが大事なのは、学校と全く同じです。今、このように、学校で勉強していることはすべて社会で役に立つ予行演習だと思ってやってください。

5つ目は**5S**です。**整理・整頓・清掃・清潔・躰(しつけ)**の頭文字をとって**5S**といいます。どこの職場でも大切なことです。では、躰とはどういうことでしょうか。5Sでいう躰とは**他人に言われなくても自分から進んでできること、習慣になっている**ことです。躰には別の意味もあります。それは**美しい立居振舞い**です。その一つが**服装**です。

オリンピックの選手で服装を注意された人がいましたが、場所にふさわしい服装があるのです。また、お辞儀の仕方も大切です。立居振舞いは、美しく丁寧にすることです。また、**敬語表現を含む言葉遣い**ができることも大切な躰です。職場ではできるだけ丁寧語を使います。また、大きな声で挨拶をすることも大切です。人間関係をよくするには、元気の挨拶が一番です。自分のことを嫌だなど思っている相手にも、元気に挨拶しましょう。喧嘩をした後も、元気に挨拶しましょう。すぐに仲良くなれますよ。

最後は、**メモを取る**ことです。仕事に教科書はありません。お客様・ビジネスパートナー・上司・同僚等から学んだことは、どんどんメモを取ってください。そして、メモしたことはわかりやすく整理して覚えてください。これも学校の勉強と同じですね。授業中に大切なことをノートに取るのと同じように、メモを取りましょう。メモが取れるのは大事な能力です。

学校での勉強は将来すべて役に立つ

学校の勉強は社会に出て役に立つのかということですが、私はすべて役に立つと考えています。特に役に立つのは、保健体育でしょう。いわゆる5教科も大切ですが、一番大切なのは保健だと思っています。そこには長生きできる秘訣が書かれています。技術家庭も大切です。家庭では自分のことは自分でできなくてはなりません。また、豊かな人生を過ごすには音楽や美術も大切です。保健体育・技術家庭・音楽・美術は、学校に行っている間にしか勉強しませんので、今を大切にしてください。

教科以外の様々な活動もすべて役に立ちます。学校行事・部活動・学級活動・当番はすべて大切です。当番の中ではトイレ掃除が大切です。開発途上国に行きますと、トイレが汚くて入れないことが多いです。日本のトイレは極めてきれいですが、トイレ掃除ができないとお客様に来てもらえないでしょう。

学校生活では**学び方・学ぶ能力**を身につけてください。一度「うんなるほど」と理解したことをどう身につけるのか。音読練習、書き取り練習、計算・問題練習を学校時代からやっていただくと、社会に出てから新しいことを学び、それを身につ

けるときに役に立つと思います。それから、読書をしてください。読書により思慮深さを身につける、これが大切です。本は何回読んだらよいのか。私は、本は6回ぐらい読んだほうがよいと思います。1回では忘れてしまいます。3回目ぐらいで何となくわかってくるのです。気に入った文章があったら「書き抜き読書ノート」に書き抜き、時々読み返すと少しずつ自分のものになってきます。また、新聞を読んで自分で考える力、批判的思考能力を身につけるとよいと思います。社会の問題がわからないと、よい仕事はできません。世の中の激しい動きに合ったものやサービスを提供したり、世の中の動きを先取りしたりするのが仕事ですからね。気に入った記事があったら「スクラップブック」にスクラップ、切り抜きをすることをお勧めします。

一生勉強、一生青春

最後に、私の好きな言葉をもう一つお送りいたします。「一生勉強、一生青春」という相田みつを先生の言葉です。勉強するときには、何となくやるのではなく、**自覚を持って学ぶこと**。何のために生きるのか、何のために働くのか、何のために学ぶのか、何のために進学するのか、進学して何をするのかを自分の頭で真剣に考えてください。人生は長いですから、「一生勉強、一生青春」と思い、興味のあることを勉強し続けてください。以上で、私の話を終わります。ご清聴有難うございました。

●生徒の感想文から

林先生の話聞いて、自分の好きな言葉が一生の宝物になるという言葉が印象に残りました。特にいい言葉だと思ったのが「練習で泣いて、試合で笑え」と「練習は不可能を可能にする」と言う言葉です。僕は野球部にいますが、この2つの言葉を一生の宝物にしようと思いました。色々役に立つお話を聞かせていただきありがとうございました。

今回の講演を聞いて印象に残ったのは、「5S」という言葉です。整理・整頓・清掃・清潔・躰というのは、僕が将来なりたいと思っている調理師ではとても大切なことだと思います。林先生に話していただいたことを参考に頑張っていきたいと思っています。

私が林先生の話聞いて印象に残ったのは「勉強し続けることが大切」ということです。勉強し続ければ、ものの見方やお客様へのアドバイスの仕方など、自分がその時に一番いいと思ったことが出来ると思います。林先生の話将来に役立てていきたいです。将来の夢をかなえるために、大事なことを学ぶことができました。ありがとうございました。

林先生は、将来会社に入った時には服装や大きな声で挨拶すること、丁寧な言葉で話すことが必要と言っていました。これらのことは中学生活で学べることなので心掛けてやっていきたいと思いました。また、学校での学び方は将来役に立つと言っていました。勉強や部活に積極的に取り組み、将来に役立てていきたいです。将来に対してすばらしい話をありがとうございました。

林先生の講演を聞いて、僕の仕事に対する考え方が変わりました。一つは、仕事は楽しみや喜びがないと思っていたのですが、仕事には厳しさがあるけれども、楽しみや喜びもあるということです。もう一つは、仕事をする理由です。僕は生活するためにだけだと思っていましたが、お客や世の中の役に立つためだとわかりました。仕事について色々教えていただきました。このことはしっかり覚えておき、将来に役立てていきたいです。

仕事は生活できるだけの収入を得るためだけではなく、お客や世の中の役に立つことが大切だと教えてもらいました。また、これからの生活に生かしていきたいと思ったことは「ブルドッグ魂」です。何事も途中であきらめないで、食い付いたら離さないように、普段の生活にねばり強さを取り入れていきたいと思いました。

僕は、仕事には厳しさはあるけれども、楽しさや喜びはないと思っていました。しかし、お客の役に立つこと、お客の問題や世界の問題を解決することが仕事の楽しさだと聞いて、素晴らしいことだと思いました。

仕事のやりがいとは、世の中のお役に立つこと、どんな仕事にも競争相手がいて、独自性を持つことが必要で、勉強をして相手に負けないサービスを作り出すことがわかりました。たとえを使って説明してくれたので、とてもわかりやすかったです。

仕事とは難しいことであり、職業によって大切なことは全く違うと思っていました。しかしお話を聞いて、どの職業でも大切な芯は変わらないとわかりました。それらは学校生活で身につけられることだったのです。とても勉強になりました。

今回の講演を聞いて、将来のために今から自分の好きな言葉をメモしたり、中学校の勉強を今以上に真剣に取り組みたいと思いました。とても貴重なことを教えていただきました。

平成 22 年度第 4 回 平成 22 年 6 月 16 日 群馬県立玉村高等学校

平成 22 年度第 16 回 平成 23 年 2 月 3 日 群馬県立太田工業高等学校

はじめに

宜しく申し上げます。この会場は剣道場ですね。私も高校生のときに、皆さまと同じように剣道をやっておりました。あまり強くはなかったですが、体育の授業で毎週 1 回か 2 回、高校 3 年生までやっておりました。剣道はよいですね。背筋は伸びますし、素晴らしいスポーツだと思います。ただ、私の専門は柔道でした。柔道は中学生のときにやっており、冬は早朝の寒稽古をし、夏は暑中稽古で 1 ～ 2 週間ぐらいの合宿もしました。残念ながら、剣道部の人と比べれば、剣道は不得意でした。ただ、高校を卒業して 20 年間ぐらいは、高校のときに使っていた竹刀で毎日素振りだけはしていました。もう 1 回剣道をやってみたいなど、この会場に来て思いました。

今日は、社会で求められる能力とは何なのか、何のために学ぶのか、何のために働くのかというお話をさせていただきます。私が本日派遣されて来たのは、群馬経済同友会という経営者の団体からでございます。私もそのメンバーの一人です。群馬経済同友会にはどんなメンバーがいるかと言いますと、この太田工業高校の近隣では富士重工業さん、坂本工業さん、しげる工業さん、ヨシカワさん、ミツバさん、とりせんさん、サンデンさん、山田製作所さんなどの会社です。開倫塾も群馬県内に 7 つの校舎がありますので、群馬経済同友会のメンバーに入れていただき、その一人として本日参りました。どうぞ宜しくお願いします。

社会人として求められる能力とは

今日の本題は、皆さんが就職をする場合、大学・専門学校などに進学してから就職をする場合に、卒業後の生活をどうしたらよいかについてであり

ます。高校卒業後に進学する場合でも、進学を果たした学校を卒業した後に最後は就職するわけですから、そのつもりで聞いてください。私は進学するから関係ないなどと考えないでください。これから、仕事とは何か、社会で求められる能力とは何かについて私の考えをお話しますので、よかったら聞いてください。少しでも参考になると思ったところは、どんどんメモを取ってください。一所懸命話しますので、おしゃべりだけはしないでください。お願いします。

<仕事とは何か>

まず、仕事とは何かです。**仕事とは、お客様の問題解決になること**です。例えば、私は今、ラジオ放送の番組を 15 年間続けた記念にと CRT 栃木放送という放送局からいただいた懐中時計をここに持っています。この懐中時計は、時を刻んで今の時間を知らせるために、メーカーが作ってくれたのです。自分では今何時かわかりませんから、時計が教えてくれているわけです。時計は、今何時か知りたいという人々の問題を解決してくれるためにあるものです。このように、仕事は問題解決のためにやるのだということをまずは理解してください。

また、仕事には必ずお客様がいます。例えば、今日の私のお客様は皆さんです。来年、就職や進学を実現することが皆さんの問題だと思いますが、その問題解決に少しでも役に立ちたい、皆さんのお役に立とうと思って、私はここに来たわけです。このように、どんな仕事にも必ずお客様がいて、そのお客様が抱える問題を解決してはじめて、仕事をしたことになることだけは覚えておいてください。最終的には、お客様の役に立つことで社会の役に立つこととなります。犯罪行為や人の道に反すること以外は、社会の役に立たない仕事はあ

りません。

〈何のために働くのか〉

次は、何のために働くのかです。皆さんは高校2年生ですから、何のために働くのかをそろそろ考えてもよい頃です。これがはっきりしていないと、雇うほうも心配です。開倫塾には今、350名ぐらいの職員がいます。毎年1,000名以上の人が応募に来ます。いつも考えていることですが、何のために働くのかがはっきりしていない人は、雇うほうも大変です。ですから、何のために働くのかをよく考えてください。

これから話すことは個人的な意見ですが、一つの参考にしてください。まず、働くのは**生活するだけの収入を得るため**だと私は考えます。次に、**仕事をする**ことで、**お客様の役に立つ**。お客様の役に立つことで**社会の役に立つ**。

そして、**仕事を通して自己実現する**。この三つのために、人間は仕事をするのではないかと私は考えます。皆さんはどう考えますか。

〈社会で求められる能力とは何か〉

それでは、社会で求められる能力とは何でしょうか。これは難しい問題です。

私は、社会では第一に**知識・情報・技術を用いる能力**が求められると思います。今皆さんが高校で勉強していることや、今学んでいる専門技術、卒業後に専門学校や大学などで勉強すること、インターネットなどからの情報はもちろん大切です。しかし、これだけでは足りません。各会社、様々な職場に入ると専門技術を身につけなくてはなりません。勉強を続けて、これらを上手に組み合わせる能力が社会では求められます。

先ほど紹介していただいた私が昨年11月まで社外取締役を6年間務め、今、顧問をさせていただいているマニー株式会社という会社は、手術をするときの縫い針や、白内障を手術するときのメス、歯の歯根治療をするときのダイヤモンドのついたバーなどを作っています。世界の最高水準の医療機器を世界の隅々にとという方針でやっていま

す。日本では、栃木県宇都宮市清原工業団地で約300名の社員でやっています。ベトナムには1,750名の工場があります。ミャンマーにも300名の工場があって、ラオスにも工場を作っています。文化も生活習慣も違う他の国の人と一緒に仕事をするわけですから、**多様な集団で活動する能力**も必要です。

日本人だけでやっているうちはよいですが、これからは言語や宗教、文化、考え方の違う外国の人とも仕事をしなくてはなりません。そのような人たちと、いざこざを起こさないで仲良く、自分の主張もして相手の考えも知ってチームプレイで仕事をする能力も求められます。チームプレイとは何かと言いますと、自分のポジションは自分で守り切ることです。この中にはサッカーなどを行っている人もいますが、お互いに信頼し合ってやることだと思います。文化、言語、考え方の違う人とも仲良くやることだと思います。つまり、多様な集団で活動する能力が、これからの社会で求められる大切な能力の第二番目だと私は考えます。

最後に社会で大切な能力は、**自律的に活動する能力**だと私は考えます。ここでいう自律の律とは、律する・コントロールするという意味です。自分自身をコントロールする、つまり、やっていいことと悪いこと、やるべきことを考えて、誰かに言われることなく自分で判断して自分の意思で行動できる能力のことです。社会で求められるのは、このような意味での自律的に活動できる人材、つまり規律ある人材です。高校で学んでいる間に、以上のようなことをよく考え、また、身につけた上で、私はこのことに自信がありますと面接で言っただけであれば、これは採用です。

〈元気な挨拶を〉

社会に出て大事なものは元気な挨拶です。挨拶ができない人は、まず就職は無理です。大きな声で挨拶できない人は、就職は難しいです。それから、笑顔を作れない人も就職は難しいです。これは製造業でも接客業でも一緒です。私は特別養護老人ホームの理事を20年近くやっていますが、お年寄りと接する場合、一番大事なものは元気な笑顔で

す。是非、笑顔で大きな声での挨拶を心がけてください。

〈これからの社会で求められる能力を身につけるには〉

これからの社会で求められる能力を身につけるにはどうしたらよいかを、次にお話します。

まず、**学び方を学ぶ**ことです。勉強は高校でおしまいではありません。今の高校での勉強は準備です。もっと言えば、高校卒業後に進学する大学や短大、専門学校での勉強は、社会に出てからの勉強の準備です。重要なのは社会に出てからの勉強です。社会に出てから死ぬまで生涯にわたって勉強し続けることです。例えば、自動車の運転免許の試験も、十分に勉強しなければ合格できません。ボイラー技師などの資格試験も大変です。ですから、これから行われる学年末試験などを通じてどんな勉強をすればよい点が取れるか勉強の仕方を真剣に考えて、それを是非身につけてください。

参考までにお話しますが、学び方で一番大事なのは、今、勉強している内容、例えば学校の教科書に書いてあることをまずは理解することです。次は、理解した内容を正確に身につけることです。身につけた後は、実際に使えるまでにすることです。私は学習塾を30年以上やっていますが、成績の良し悪しに頭の良し悪しは関係ありません。勉強の仕方、特に一度理解したことを身につける方法がわかっているかどうか、実際にそれをコツコツやるかどうかで成績は決まります。特に、一度うんなるほどと理解した後、音読練習で声に出して読むことが重要です。また、書き取り練習も大事です。社会に出てからも同じ方法で勉強すれば、仕事に必要なこともどんどん身につきます。それから、応用も大事です。応用とは、隅から隅まで覚えて、よい点を取ることです。社会に出てからもテストはたくさんあります。こんなにあるのかと思うくらい、社会に出てからもテストはあります。ですから、高校にいる間に勉強の仕方を身につけてください。テストを受けるときには、5年分ぐらいの過去の問題を5～6回やるのが大事です。これは、学校の定期試験や入学試験でも大事ですが、社会に出てから資格試験を受けると

きのコツでもありますからよく覚えておいてくださいね。

〈読書により思慮深さを身につけよう〉

就職試験対策で一番大事なのは、読書です。読書により身につくのは思慮深さです。読書により思慮深さを身につけることを心がけてください。読書によって身についたしっかりした考え方を持っていれば、この人は採用です。それから、新聞を読むことも重要です。就職試験に受かりたいと思ったら、毎日最低でも1時間は新聞を読んでください。仕事とは、世の中の問題を解決することなのです。新聞を読まないで、世の中の問題がわかりません。今、1ドルはいくらでしょうか。81円ぐらいですよ。もし円安になれば皆さんの就職も少しはよくなるでしょうが、これ以上円高になったら大変です。日本でものを作っても高くしか売れませんから、為替相場は失業率と連動するのです。このようなことは皆さんの就職にも関係しますので、新聞を読んで、世の中のことを自分のこととして考えてください。では、新聞は読むに値するかという話です。ここに、読売新聞栃木版の「とちぎ寸言」のために私が書いた原稿があります。この800字のコラムを書くのに3日間、合計で5～6時間かかりました。私も新聞社から原稿を依頼されると真剣に書きますが、プロの新聞記者は皆、どんなに短い文、短い記事でも真剣に書いています。書くほうは真剣ですから、読むに値するものだと思います。新聞を通して、社会の問題は何なのか、それに対してどう考えたらよいかわかります。新聞を読んで自分で考える力、批判的思考能力を身につけることが大事です。

〈書き抜き読書ノートをつくらう〉

読書について言えば、学校の先生が紹介する本や、教科書に載っている本を読みましよう。皆さんの人格形成やものごとに対する考え方をしっかりさせるのに役立ちます。企業が望むのは、しっかりした人材、規律ある人材です。自分の考えに基づいてしっかり行動する人です。そのためには、幅広い読書により思慮深さを身につけることが欠かせません。読書の成果を自分の成長にどう結びつけたらよいかというと、私のお勧めは「**書き抜**

き読書ノート」です。本を読んでいて「これはいいな」と思ったら、書き抜いておき、それを折に触れて繰り返し読み直すとよいです。「書き抜き読書ノート」を読み返すことが、自然のうちに自分自身の人格の基になることすらあります。

<躰を身につけよう>

それから、会社が望むのは躰(しつけ)です。躰とは、美しい立居振舞いと敬語表現を含む言葉遣いです。言葉遣いが大事ですから、国語の授業は大事です。美しい立居振舞いは部活動や学校行事で身につきます。それから、5Sというものも大事です。5Sとは、ローマ字で書くとSで始まる整理・整頓・清掃・清潔・躰のことです。多くの職場、会社、工場でもやっています。整理とは不要なものを処分すること、整頓とは決まったものを決まったところに必ず置くことです。例えば、皆さんにとって一番身近なところでは、かばんですね。皆さんは、かばんの中のどこに何をを入れるか決めていますか。私はどこに何をを入れるか決めてから、探さなくても済むようになりました。5Sは、高校生の頃から心がけることをお勧めします。

<学校の勉強はすべて役に立つ>

学校の勉強は全部役に立ちます。一番役に立つのは保健体育の保健でしょう。保健の教科書には健康の秘訣が書いてあります。その通りにやれば、病気になりにくいです。次に役に立つのは家庭科だと思います。家を離れば一人で暮らさなければなりません。そのとき、自分で料理ができるか、部屋がきれいか、これらは家庭科をやっているだけでできます。それから、音楽と美術も大切です。情緒が不安定だとよい仕事はできません。英語も大事です、外国人が来たら、英語で話してあげることが一番の親切です。私はフランス語があまりできません。以前、フランスに行きOECDでの国際会議に出たことがありました。あるグループに私が入り、私がフランス語は挨拶ぐらいしかできないとわかったその瞬間に、それまでフランス語で話していたフランス人のグループの会話が英語に変わりました。親切とはこういうことかと思いました。

<教科以外の勉強も大事>

教科以外の勉強も大事です。一番大事なのは、遅刻しないで、決まった時間の少し前に到着する能力です。仕事場でみんなに遅刻をされたら、仕事になりません。普通の会社では、理由のない遅刻を5回ぐらいすると始末書を書けと言われるかもしれません。始末書が10枚ぐらいたまると、ここは無理だから辞めたらどうですかと言われることも多いです。信用できないからです。学校にいる間も遅刻・欠席をしないことを心がけてくださいね。

<何のために学ぶのか>

次に、何のために学ぶのかについてお話をします。人生の選択肢を増やす、多様な選択肢を持つ人生を歩むために勉強するというのが私の意見です。学ばば学ぶほど、はっきり言ってしまえば、学校の成績がよければよいほど就職は楽になります。どこにでも就職できて、就職活動における選択肢が増えます。採用するほうも、成績を見ればこの人は学校でよく勉強したということがわかります。出欠の状況も、就職のときには、成績と同様に非常に大切です。

<自己責任、自助努力、自分の未来は自分で切り開こう>

自己責任・自助努力の考えで自分の未来を切り開くことも大切です。医者や弁護士になりたいと思えば、今から必死で勉強すればいくらでもなれます。ある会社に入りたければ、必死で勉強すれば誰でも入れます。頭の良し悪しは関係ありません。既に皆さんは太田工業高校という立派な高校に受かっているのですから、能力は十分にありません。大事なのは、その仕事に就けるだけの勉強を必死になってやるかどうかだけです。十分に勉強してよい成績を取った人は、自分の希望するところに受かります。勉強すれば自分の夢は叶います。ただ、夢は叶わない場合もあります。実は私も弁護士になりたかったのです。しかし、勉強が不足して受かりませんでした。8回も落ちてしまったのです。29歳まで大学の研究室で勉強していました。受からなかったけれども、法律を勉強したことは役に立ちました。今もとても役に立っています。もし夢が叶わなくても、勉強したことは役に

立ちます。

＜私の好きなことば＞

最後に、私の好きなことばを紹介します。まずは「練習で泣いて、試合で笑え」です。私は柔道をやっていましたが、この言葉は中学校時代の柔道の監督、椎名弘先生が教えてくださいました。

次は「ブルドッグ魂」です。食い付いたら離すなどということ、中学3年生のときのクラス担任、岡田忠治先生が教えてくださいました。

足利高校のときにマラソン大会のキャッチフレーズとして教わったのが「一所懸命」です。字が違うのではないですかと先生に聞いたところ、一つの所で命を懸けるくらい熱心にものごとに取り組むことが大事であると教えられました。

慶應義塾大学時代には「いつも最悪のことを考えて行動しなさい」という言葉を法哲学の峯村光郎先生から教えていただきました。

また、犯罪学や刑事政策を学んで多くの刑務所を訪れていたのですが、そのゼミの宮沢浩一先生からは、「注意一秒、けが一生」という言葉を教えていただきました。

慶應義塾大学の小泉信三先生という元の塾長先生が教えてくださったのが、「練習は不可能を可能にする」という言葉です。

京都の一燈園の石川洋先生から教えていただいたのは「会った人は皆友達」「人生逃げ場なし」「本当の月を見たことがあるのか、本当の自分を見たことがあるのか」です。

昔の世阿弥という人の言葉で好きなのは「初心忘るべからず」です。

インドの「目には遠いが、心は近い」ということわざも大好きです。

ドラッカーという高名な経営学者の先生の教え

で大好きなのは「教育ある人とは勉強し続ける人」です。

では、いつまで勉強すればよいのか。私の考えは、死ぬ前の日までです。今、ヨーロッパやアメリカでは高齢者が大学に行くことが流行っています。そうすると元気でいられるわけですね。大学などで勉強し続ける人はいつまでも若々しく生き続けられますから、医療や福祉のお世話になる確率が下がります。つまり、納税者の負担、社会の負荷を低めることができます。このように、超高齢化社会ほど勉強し続ける生き方が大事です。

「いつまでも若々しく生きる」、中村天風先生のこの言葉もよい言葉だと思います。

相田みつを先生からは「一生勉強、一生青春」という言葉を教えていただきました。

これらはみな、身近な人から教わりました。皆さんも、先生や職場の人から教わったらメモしておいてください。そして、自分の励みにしてください。素晴らしい一生を送れると思います。

おわりに

今日は、皆さんが就職試験に成功するにはどうしたらよいかについてお話しました。もう一度言います。新聞は毎日1時間は読みましょう。学校の先生が薦める本や教科書に書いてある本や図書館にある本も読んでみましょう。1か月に最低1冊、できれば1週間に1冊は読みましょう。そして、何のために働くのか、何のために勉強するのかを考えてみてください。

ただ、一番大切なのは健康です。健康を崩してまでいろいろなことをすることはないと思います。健康には心の健康と体の健康の2つがありますから、ともに大事にしてください。皆さんのご成功をお祈りしまして、私のお話を終わりいたします。ご清聴ありがとうございました。

●生徒の感想文から

- ・社会で求められる能力として、自律的に活動できる能力、多様な集団で交流できる能力、知識・情報・技術を相互作用的に用いる能力が必要なのがありました。これから頑張っ、これら三つの能力を持った人間になりたいです。
- ・高校時代の勉強はすべて役に立つと聞き、自分もその通りだと思いました。社会に出たときの基本や基礎となるものだと思います。勉強や知識を身につけていき、社会人としての準備をしていきたいと思っています。
- ・夢がない人は何でもいいから夢をもったほうが良いという言葉を知り、今自分が抱えている進路への悩みが少し和らいだ感じがしました。今日初めて 5S という言葉を知りましたが、社会に出るときに大切な言葉を知ることができ、本当にためになったと思います。
- ・今回の講演会で、勉強の大切さを学ぶことができました。新聞や本を読まなければ、社会の動きや問題がわかりません。時間があるときは少しでも新聞や本を読んでいきたいと思いました。
- ・高校を出れば、働くだけで勉強は別にしなくてもよいものだと思っていました。でも、社会に出てからも学び続けることは大切なことだと思いました。高校で習ったことはほとんど無意味だと思っていましたが、自分の夢を叶えるには必要なことで、高校生の残りの間も勉強を頑張りたいと思います。
- ・夢を持っていたほうが良いという話を聞いて、とても共感できました。夢があるから、夢に向かって勉強も続けられると思います。夢に向かって頑張っているときが一番楽しいと思うからです。
- ・社会でどんな人材が必要とされているか、その中で必要とされている能力はどんなものかがわかりました。今日お話頂いたことをこれからの生活に生かし、自分が今できることをしていきたいと思っています。
- ・自分も林さんのように人の役に立つ、やりがいのある仕事がしたいと思いました。これからの学校生活を今日学んだことを念頭において頑張っていきたいです。
- ・今まで、仕事は自分の生活のためにやるものだと思っていましたが、どの仕事が社会にどんな影響を与えるかなどを考えることができました。今日聞いたことをこれからの生活に役立てていきたいと思っています。
- ・今回の講演で、就職するためには学校の成績がよくなってはならないと聞き、高校の勉強は大事なことを認識した。
- ・今日は、働くことの意味だけでなく、今の社会の流れ、必要とされている人材について学ぶことができました。中でも、高校時代の勉強は一生の役に立つというお話が印象に残りました。「学び方を学ぶ能力」や「新聞を読んで考える力」を高校時代に身につけていきたいと思いました。
- ・社会では生き生きと元気な姿が大切だと話していた。元気で仕事をしている人を見ることは、林さんも幸せだと言っていた。私も社会に出て行くときに元気な姿を周りの人に見せられるように頑張りたい。
- ・今回の講演で、今自分は何をしなくてはならないかを改めて考えることができました。自分の夢や目標に向かって頑張っていきたいと思いません。